



平成31年2月分 大分税関支署管内貿易概況

平成31年4月8日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は561.2億円、前年同月比1.3%増、3か月ぶりのプラス

船舶類が全増、銅及び同合金、有機化合物などが増加

映像機器、鉄鋼などが減少

輸入額は946.4億円、前年同月比3.6%減、2か月ぶりのマイナス

銅鉱、液化天然ガスなどが減少

原油及び粗油、石炭などが増加

主要品目

(単位:百万円、%)

輸出	価額	前年同月比	構成比	輸入	価額	前年同月比	構成比
有機化合物	8,363	137.1	14.9	鉄鉱石	17,301	102.2	18.3
鉄鋼	11,632	72.4	20.7	銅鉱	19,638	69.4	20.8
銅及び同合金	10,438	133.1	18.6	石炭	13,981	132.5	14.8
事務用機器	9,142	91.0	16.3	原油及び粗油	19,303	128.3	20.4
映像機器	4,740	51.4	8.4	揮発油	8,043	135.0	8.5
船舶類	5,631	全増	10.0	液化天然ガス	8,222	63.4	8.7

港(通関官署)別の状況 (詳細は、別添「港別外国貿易概況」参照)

大分) 輸出は500.0億円、前年同月比8.6%減。映像機器、鉄鋼などが減少、銅及び同合金などが増加
輸入は936.2億円、前年同月比4.2%減。銅鉱、液化天然ガスなどが減少、原油及び粗油、石炭などが増加

佐伯) 輸出は0.8億円、前年同月比8.3%減。木材が減少
輸入は5.2億円、前年同月比27.0%増。植物性原材料、木材が全増、植物性油かすが増加、石こうなどが全減

津久見) 輸出は60.4億円、前年同月比9.8倍。船舶類が全増、セメント、石灰石などが減少
輸入は4.9億円、前年同月比664.9倍。石炭が全増、アルコール飲料が増加

**大分
空港)** 輸出入実績なし

港名(通関官署)

(単位:百万円、%)

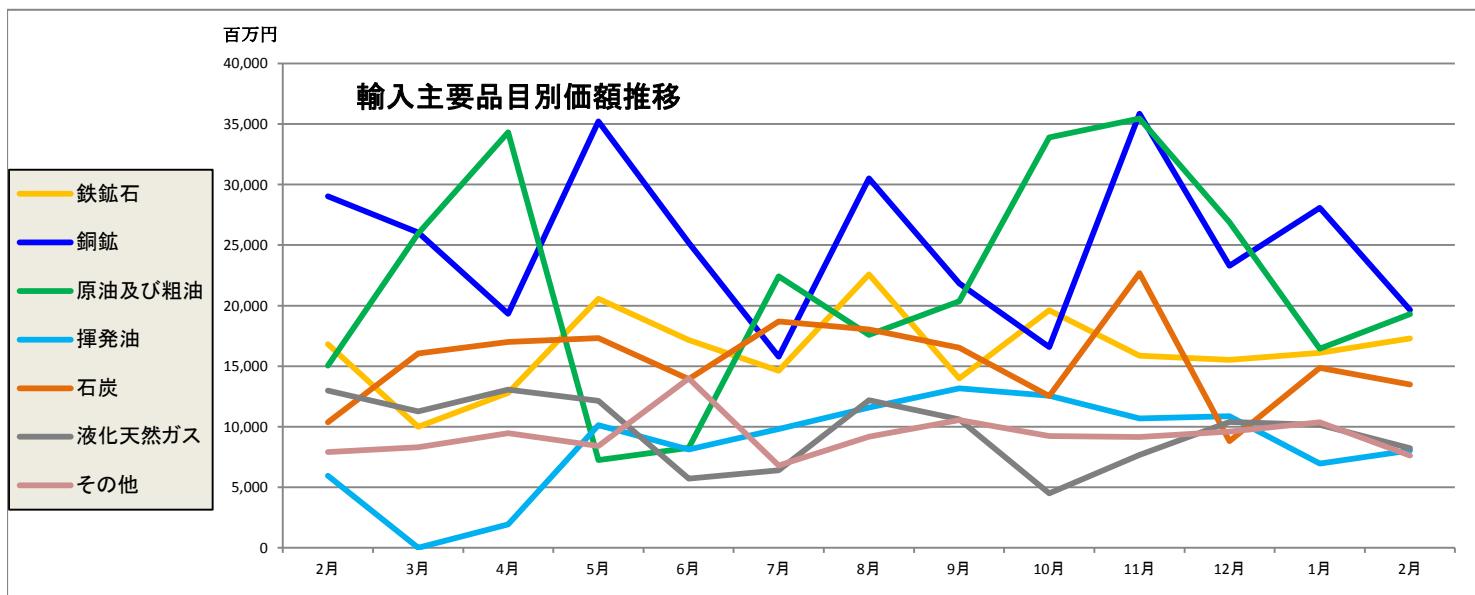
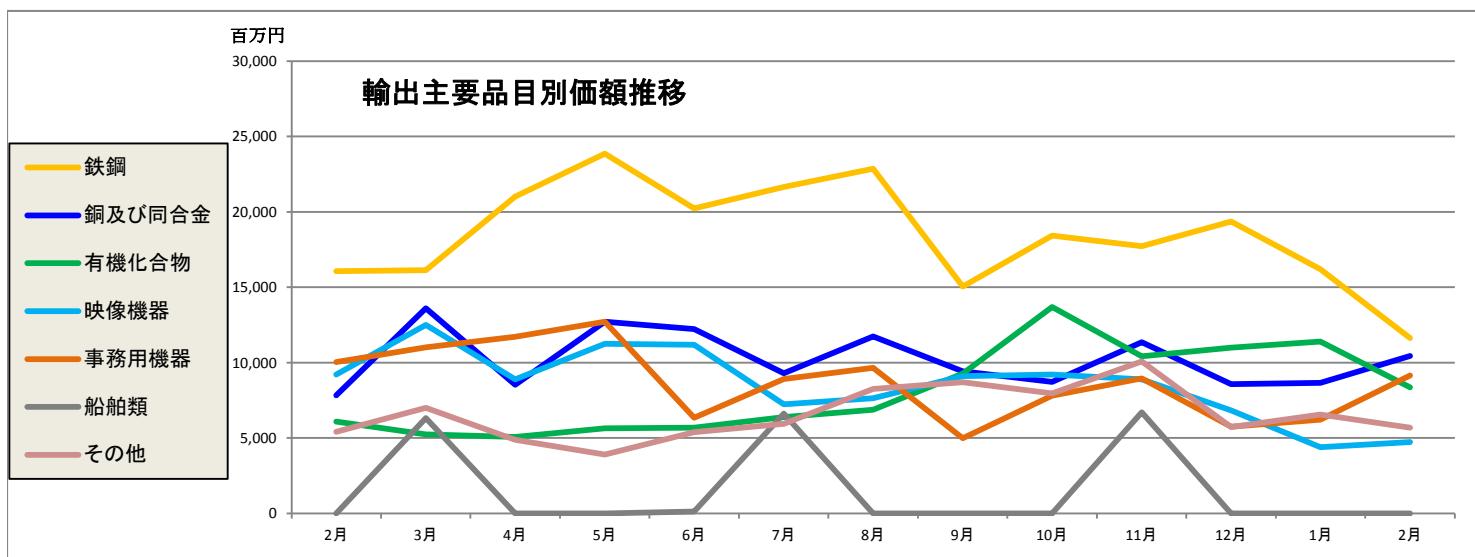
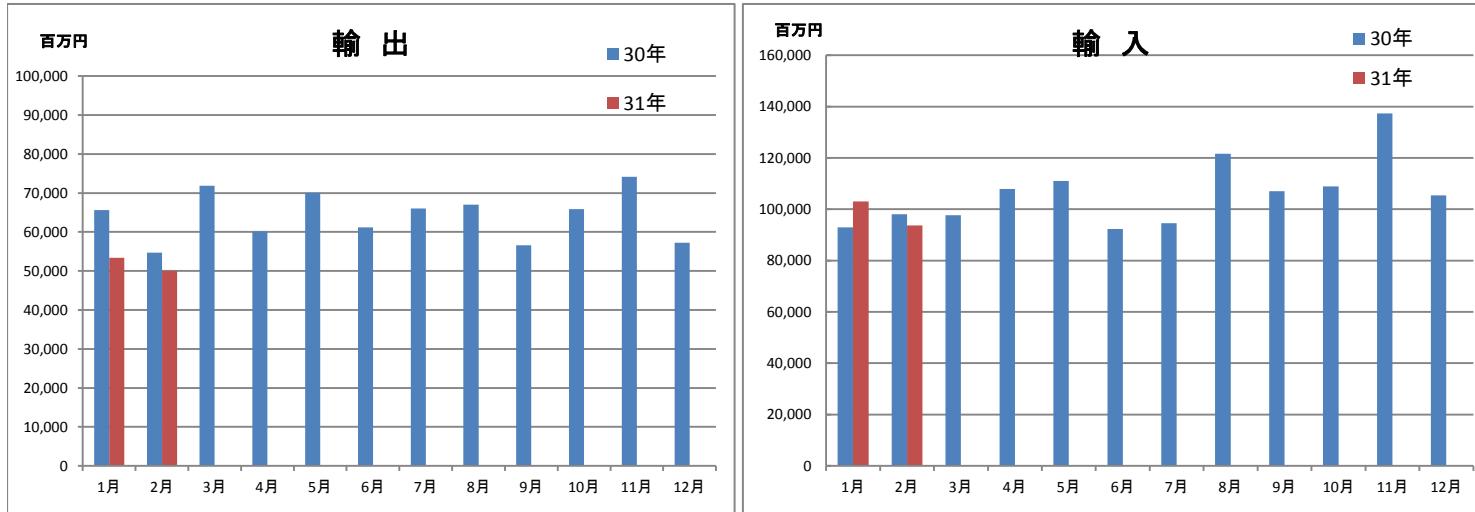
区分	輸出			輸入			差引額		
	価額	前年同月比		価額	前年同月比		出・入超	価額	
大分(大分)	50,002	91.4	↓	3か月連続のマイナス	93,623	95.8	↓	2か月ぶりのマイナス	入超 43,622
佐伯(佐伯)	79	91.7	↓	2か月ぶりのマイナス	523	127.0	↑	2か月ぶりのプラス	入超 444
津久見(津久見)	6,044	976.3	↑	2か月ぶりのプラス	493	66491.4	↑	2か月ぶりのプラス	出超 5,551
大分空港(大分空港)	-	-			-	-		-	-
大分県	56,124	101.3	↑	3か月ぶりのプラス	94,639	96.4	↓	2か月ぶりのマイナス	入超 38,514

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

大分港貿易額の推移



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>